

SDGs とは？

目標 10 人や国の不平等をなくそう



“世界中から不平等を減らそう”

多くの国でかつてないほど格差が広がっています。2017年には、世界のもっとも豊かな1%の人が世界全体の富の約33%を持っていました。



SDGs (Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標) は、「誰一人取り残さない (leave no one behind)」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられました。2030年を達成年限とし、17のゴールと169のターゲットから構成されています。

認知症地域支援推進員のつづやき 41

～ 認知症かな？ どうしたらいいのだろう～

最近、朝夕がとても冷えてきましたね。そんな中、私の働く職場での職員の会話で、気になる話がありました。最近お向かいに引っ越してきた高齢のご夫婦。奥様はとても寒い日も、夏の装いで、毎晩夜9時過ぎ頃になると、外に出て来てはしばらくすると戻ってを何度も繰り返している。「認知症なんじゃないかな？でもどうしたらいいかわからない」と話していました。私たちの住む地域でも、きっとこのようなことがあって、悩んでいる方もいらっしゃるのではないかと感じました。もしこのような場面を見かけたら、地域の包括支援センターに相談して欲しいと思います。

私たちはここにあります！
 認知症地域支援推進員配置施設

- 地域包括支援センター ☎ 68-8941
- 利根町保健福祉センター ☎ 68-8291
- 複合施設 響 ☎ 61-8500
- 介護老人保健施設もえぎ野 ☎ 84-6081



5 ジェンダー平等を実現しよう

男女共同参画ってなあに？ Part 93
 男女共同参画推進月間に啓発活動を実施しました！

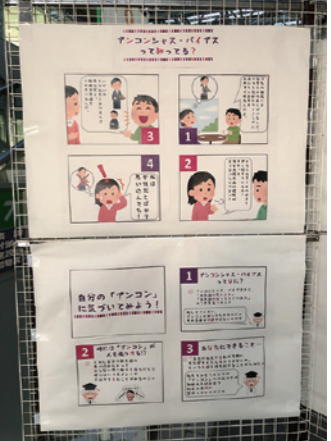
町では「利根町男女共同参画推進条例」において、11月を男女共同参画推進月間としています。男女共同参画社会に関する周知啓発を図るため、11月16日から26日までの期間において、役場内イベントホールにて「男女共同参画に関する用語」についての啓発活動を実施しました。

- 啓発の内容 【5つの男女共同参画に関する用語】
- ① 「アンコンシャス・バイアス」
 - ② 「LGBT」
 - ③ 「ワーク・ライフ・バランス」
 - ④ 「DV (ドメスティック・バイオレンス)」
 - ⑤ 「ポジティブ・アクション」



5つの男女共同参画に関する用語について、さまざまな年代の方がわかりやすいようにイラストや4コマ漫画を使ったパネル説明や、5つの用語に関する認知度アンケートを実施しました。

私たちの生活のさまざまな場面において、「自分が当たり前だと思っていたことが性差別や偏見につながっていた」ことや、「気づかない間に誰かを傷つけていた」ということもあるかもしれません。男女共同参画社会の実現のためには、制度を整えるのみでなく、一人ひとりの考え方も変わっていかねばならないのです。



問い合わせ先 政策企画課 政策企画係 ☎ 68-2211 (内線333)

10 人や国の不平等をなくそう

福祉コラム ～広げよう心のバリアフリー～ Vol. 1
 「わたしにはどんなことができるのか」を考えてみましょう。

私たちが住む町には高齢者や外国人、妊娠している人、介助している人、赤ちゃん連れの人など様々な人がいます。みんなが笑顔で暮らすためには、お互いのことを知ることから始まります。障害のある人についてもそうです。まずはよく知って、「わたしにはどんなことができるのか」を考えてみましょう。

【聴覚障害】
 耳が聞こえない、聞こえにくいといった障害により、日常生活で困難なことがあります。途中で聞こえなくなった人は、聞こえなくなっても話せる人もいます。

- ・補聴器を付けている人もいますが、見た目ではわからない人もいます。
- ・手話や文字、相手の口もとの動きなどから情報を得ています。
- ・大声で話すと、逆に聞き取りにくくなる場合があります。

○接し方

- ・筆談や文字で伝える。(短くて分かりやすい文)
- ・自分の口もとの動きを見せて、はっきり、ゆっくり、話すなどの工夫をお願いします。



問い合わせ先 福祉課 社会福祉係 ☎ 68-2211 (内線128)